ご愛読者の皆さまへ　～定期購読申し込みのお願い～

いつもThe Watch & Jewelry Todayをご愛読いただき、有難うございます。
これまで無料にてご愛読いただいていた皆様の郵送を順番にお止めさせていただいております。ご購読を希望する場合は、右のQRコードよりご登録をお願いいたします。定期購読料は、年間8500円です。宜しくお願い申し上げます。
□問い合わせ＝㈱時計美術宝飾新聞社（TEL：03-3833-1886　FAX：03-3833-1886）

保険のご相談は（株）東時へ　本社：03-5817-0353　西日本支社：06-6252-4477

●発行所（株）時計美術宝飾新聞社
●編集発行人　藤井正義
〒110-0015 東京都台東区東上野1-26-2
ジュエラーズタウン・オーラム508
TEL(03) 3833-1886 FAX(03) 3833-1717
http://www.e-tkb.com
毎月1日・15日発行
年間購読料8500円／1部450円
振替口座00190-3-57579

THE CITIZENより 30周年記念限定モデルほか 秋冬シーズンに向け新作続々

CITIZEN

時計の本質を追求し、卓越した精度を誇る高品質ウオッチ『The CITIZEN』の30周年を記念した限定モデルの発売を10月に控えたシチズン時計㈱は、9月4日、マンダリンオリエンタル東京で、秋冬シーズンに向けた新製品発表会を開催した。

シチズンを代表する「ザ・シチズン」が誕生してから30周年を迎え、腕時計の部品から、完成時計の組立・調整まで自社一貫製造できるシチズン時計はマニュファクチュールであり、世界約140の国と地域でビジネスを展開している。

今回は、30周年を迎えた「ザ・シチズン」から4モデル、「エコ・ドライブワン」から3モデル、「アテッサ」から8モデル、25周年を迎えた「カンパノラ」から3モデル、シリーズ8」から3モデル、「エクシード」から3モデル、「プロマスター」から9モデル、「クロスシー」から10モデル、「シチズン コレクション」から11モデル、「キー」から2モデル、「ウィッカ」から6モデル、「シチズン エル」から5モデルの合計67モデル（一部情報解禁モデル含む）の新作が登場した。

なお、10月1日より、全世界でシチズンブランドの腕時計の保証期間を1年間から3年間に延長する。購入国に限らず全世界で保証が受けられる国際保証として対応する。

提案会場を2つに分け 各ブランドの世界観を 魅力的に伝える

SEIKO

9月13日～21日までの9日間、東京で開催されている世界陸上競技選手権大会を19回目のオフィシャルタイマーとして支えるセイコーウオッチ㈱は、9月～12月に発売する新商品提案会を9月4日、リッツカールトン東京（東京ミッドタウン）と麻布台ヒルズハウスに分けて、各ブランドの世界観を魅力的に伝えた。

リッツカールトンでは、アストロン、プロスペックス、5スポーツ、プレザージュ、キングセイコー、ルキア、セイコーコレクションの7ブランド78モデルとクロック5モデルの83モデルを紹介し、麻布台ヒルズハウスではグランドセイコー10モデルとクレドールの2モデルを展開。合計で腕時計90モデル、クロック5モデルの計95モデルが登場した。

10月・11月に入ると塔の上のラプンツェルをイメージしたからくり時計をはじめ、アストロンのNexter2025限定モデル、グランドセイコーのEvolution9 Collectionスプリングドライブ U.F.A限定モデル、ディズニーミッキーマウス振り子付き掛時計限定モデルなどが発売される。

鯖江市全体でメガネ産業を守る

眼鏡市場が地域の拠点としての役割果たす

国内最大級の製造工場を建設へ

眼鏡市場（静岡市葵区、代表取締役社長：冨澤昌宏）は、福井県鯖江市石田上町にある現キングスター工場をリニューアルし、新工場を建設することを発表。新工場の敷地面積は13,197平方メートルで、2026年1月に着工、2027年7月に稼働開始を予定している。

眼鏡市場は売上高業界No.1企業として、国内のメガネフレーム製造拠点が海外に流出している現状や、高品質なフレームの安定供給が難しい状況を、メガネ業界全体の課題と捉えている。さらに、福井県鯖江市は日本のメガネフレーム製造の約90%を担う世界的な産地である一方、後継者や人材不足、高齢化といった構造的課題に直面している。

こうした状況のなかで、眼鏡市場は新工場を“マザー工場”と位置づけて建設し、鯖江の品質と供給体制の安定化、技術の継承に取り組んでいく。また、製造工程を全て公開するオープンファクトリーとして、メガネ製造業者や一般客にも製造過程を間近で見学できる環境を提供。これにより、“鯖江市全体でメガネ産業を守る”という眼鏡市場の使命を体現し、“ものづくり”の楽しさや大切さを伝える地域の拠点としての役割を果たす。

新工場内には、眼鏡市場の商品を購入できる店舗のほか、飲食店やワークショップ施設も併設される予定。子供から大人まで幅広い世代の人々が、メガネの製造現場を体験できるだけでなく、地域の憩いの場としても活用され、鯖江市の観光資源・地域活性化としても貢献する新たな拠点を目指す。

他に類を見ない展示会めざし、復活

台湾ジュエリー＆ジェムフェア　11月21日～24日に開催

JEWELLERY & GEM TAIWAN

Informa主催による「台湾ジュエリー＆ジェムフェア」が、5年振りに復活。業界の使命と高い期待を体現すべく、11月21日～24日の4日間、台北世界貿易センターホール1で開催されることが発表され、各国から注目されている。

完全復活に向け、最高級のオーダーメイドジュエリーをはじめ、希少な宝石コレクション、そして精巧なアンティークジュエリーに重点を置き、より洗練された構成で準備を進めている。

同フェアは、この地域で最も専門的かつ国際的に認知されたジュエリーの見本市として定着しており、新製品の発見から潜在的なパートナーシップの開拓ができるだけでなく、主催者が綿密に計画した現地アクティビティを通じて、技術知識の向上や新たなビジネスモデルの創出にも役立つとして、多くの業界関係者が積極的に参加する。

また、輸出入業者、小売・卸業者、Eコマース専門家、デザイナー、業界関係者のほかに、銀行のVIPや著名なコレクター、高級時計の愛好家、社交界の名士、ワイン愛好家、そして不動産投資家など来場者のレベルをさらに引き上げ、プレミアムな消費者ブランドのための他に類を見ない展示会を目指す。さらに、的確にターゲットを絞った顧客基盤により、来場者も他に類を見ない格式高い展示会体験を得られるとしている。

前回は、米国、カナダ、中国、日本、インド、マレーシア、フィリピン、ロシアを含む34の国と地域から7,516名のバイヤーが来場し、成功裏に閉幕した。

過去の参加者からのフィードバックによると、98%のバイヤーが展示会に満足しており、さらに92%のバイヤーが友人や同僚にイベントを推奨すると回答。85.2%が再度の参加に強い関心を示していることから期待が高まっており、日本からの出展社も増加することが見込まれる。

年内最後の宝飾展「国際宝飾展秋」

10月29日（水）～31日（金）、パシフィコ横浜

年内最後の大規模宝飾展「第13回国際宝飾展秋（秋のIJT）」は、10月29日～31日、パシフィコ横浜で開催される。時間は10時～18時（最終日は17時まで）。主催はRXJapan㈱。

秋のIJTは、高級ジュエリー、ライトジュエリーから、鉱物、天然石ルース、ハンドメイドに必要な素材・パーツまで、「実際に見て、比べて、特別価格で仕入れができる」展示会。

宝飾卸やメーカーが出展し、日本・中国をはじめとしたアジア各国のバイヤーや、宝飾品ビジネスに関心のある人、これから新規参入したい人、ハンドメイド作家が仕入やブランド導入を行う。差がつく素材やパーツの仕入れに最適で、ワンランク上のハンドメイド作品の製作に繋げたい。

会場には400社が出展し、81万点のジュエリーが一堂に展示販売される見込みで、昨年の来場者数は、3日間で11,311名だった。